2025．5．Ｎｏ.165
URL： https://www.hyogo-kg.jp

兵繊技ニュース

【就任のあいさつ】



所長　東山幸央

皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より繊維工業技術支援センターの運営に関してご支援を賜り厚く御礼申し上げます。この度、中野前所長の後を受け、４月１日付けで繊維工業技術支援センター所長を拝命致しました。兵庫県下の繊維産業および関連する地場産業の発展に、微力ながら支援のために努力いたします。

本年の４月１３日に開幕した大阪・関西万博において、兵庫県の魅力を発信するフィールドパビリオンに播州織も選定されており、国内外への播州織のPRに絶好の機会となります。例年の播州織博覧会（播博）、播州織フェアと併せて、関連イベントに向けた技術的支援に当支援センターとして全力で取り組みます。

当支援センターの近年の機器整備として、令和５年度にカバーリング意匠撚糸機を導入し、オリジナル意匠糸の試作が可能になりました。糸から差別化することで高付加価値製品の開発に繋げる狙いです。また、令和６年度には全自動無縫製横編試作支援システム（ホールガーメント編機）と、デジタル顕微鏡が導入されました。ホールガーメント編機は加古川の靴下産地への支援の他、色糸残糸からの製品試作にも活用できます。また、デジタル顕微鏡は生地や糸のより鮮明な表面観察に効果的です。是非ともご活用頂きたく存じます。

令和７年度は、所長含め技術系職員４名体制となります。前年度の７名から３名減となり厳しい状況ではございますが、職員一丸となって産地企業からの技術相談やクレーム分析等の技術支援業務、播州織や靴下をはじめとする地場産業の支援と情報発信、環境対応など繊維業界が取り組む技術課題の解決に注力し、産地と共にある繊維工業技術支援センターを目標に尽力する所存です。今後とも皆様方のより一層のご指導、ご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

【令和7年度 事業計画】

兵庫県立工業技術センターでは、「ものづくり産業と伴走し、新たな価値の創出を支援する。」とミッションを定めています。繊維工業技術支援センターとして、播州織や靴下を始めとする地場産業や県内繊維関連の中小企業の活性化ならび振興のため、様々な事業に取り組みます。製造現場でのトラブル解決等のための技術相談・依頼試験・機器利用などの支援業務をはじめ、企業・大学等との共同研究およびテクノトライアル事業、さらには人材育成のための研修事業も行います。また、播州織の用途拡大やPRのため、各種展示会や学会活動等への出展を通じた情報発信も積極的に実施します。

【研究事業】

１．技術改善研究

「播州織の最終消費者認知度向上のためのニット試作支援システム活用検討」
担当者：研究員　岩崎　希祐（担当分野：繊維物理、製編）

２．経常研究

「意匠撚糸機を活用した生地試織と製品提案」
「廃棄衣料由来の再生糸を用いた製品提案」
担当者：所長　東山　幸央（担当分野：繊維化学、製織）

「播州織編物を防災関連製品に活用するための予備検討」
担当者：技術課長　吉田　和利（担当分野：繊維化学）

「繊維製品向け糊剤への添加を目指したピッカリングエマルションに関する研究」
担当者：主任研究員　新田　恭平（担当分野：染色化学、異物分析）

【技術支援事業】

１．共同研究・テクノトライアル事業

中小企業が個別の技術課題について当支援センターと共同して研究開発を進め、その問題解決に当たります。昨年度は10企業、4大学、1学校法人との共同研究を実施し、受託研究は1件実施しました。また、テクノトライアル事業は105件実施し、工程・品質管理から新商品開発まで成果を得ました。

2. 依頼試験･依頼加工の実施

依頼試験は、織物及び繊維材料分野で２0項目を実施しています。なお、試験機器や分析機器の利用は、機器利用研修を受けていただきご利用いただけます。詳細は当支援センターへお問い合わせ下さい。

3. 企業訪問の実施

産地企業や近隣企業を訪問し、企業ニーズの把握と集約を行い、技術指導や研究等に繋げます。

4. ものづくり基盤技術入門研修

中小企業の人材養成をサポートするため、各分野の基礎的技術を習得することを目的に「ものづくり基盤技術入門研修」を実施しています。
昨年は「欠陥分析および繊維鑑別事例の紹介」の内容で実施しました。今年度につきましては、後述しておりますのでご参照下さい。

5. 兵繊技ニュースの発行

研究速報や技術情報等を掲載し、年2回（５月、１月）発行を予定しています。

6. 講習生研修事業

中小企業の技術者を養成するため、随時講習生を受け入れています。この研修事業は、１ヶ月を単位で当支援センター職員が講義、研修します。

7. 研究成果の普及啓蒙

①年報・研究報告書の発行（６月・11月）
②兵庫県立工業技術センターでの研究発表会の開催（11月）
③ホームページでの刊行物・行事等の情報発信

【お知らせ】

機器利用研修会を実施する開放試験分析機器及び受講料等について

※令和7年4月より機器利用料と利用研修料が改定されました。

開放試験分析機器	受講料/人（円）	使用料/h（円）	開放試験分析機器	受講料/人（円）	使用料/h（円）
分析機能付走査型電子顕微鏡(SEM)	5,000	2,500	熱盤式真空油圧プレス機	4,000	3,700
全自動無縫製横編試作支援システム		1,800	繊維用万能材料試験機	3,000	1,800
風合い計測システム	4,000	1,700	帯電性試験機	2,000	600
熱重量測定示差熱分析装置(TG-DTA)		1,300	画像分光色彩計		1,800
示差走査熱量測定装置(DSC)		1,300	意匠撚糸機	－	800
熱機械分析・応力歪測定装置(TMA)		3,500	デジタル顕微鏡		1,600
赤外顕微鏡付フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)		1,300			

【募集】

令和７年度ものづくり基盤技術入門研修事業　研修生募集

研修コース名「全自動無縫製横編試作支援システム活用入門」

【研修内容】

本研修では、研修課題「全自動無縫製横編試作支援システム活用入門」について、工業技術センター研究員による基礎講座や機器を活用した基本実習を行います。ニットの基礎、ホールガーメント横編機の扱い方から編みデータの作成、サンプル編みまで行い、機器利用に向けた基礎研修を行います。※受講者の予備知識に合わせた受講形式です。

【研修日程と講師】

開催日についてはご相談ください（2025年6月2日（月）～ 8月8日（金）の間で４日）
13：00　～　17：00　/日　（繊維工業技術支援センター職員１名）

【研修対象者】

・兵庫県内の中小企業*の技術者の方
・工業高等専門学校卒業者以上もしくはこれと同等以上の専門知識・能力を有する方
* 中小企業とは、中小企業基本法第2条に規定する資本金3億円以下または従業員数300人以下の会社

【受講定員】

若干名（2名程度）※各回１社限定で実地予定

【受講料（企業負担額）】

１名につき15,000円（税込み）

【研修場所】

兵庫県立工業技術センター　繊維工業技術支援センター
（西脇市野村町1790-496）

【申込期間】

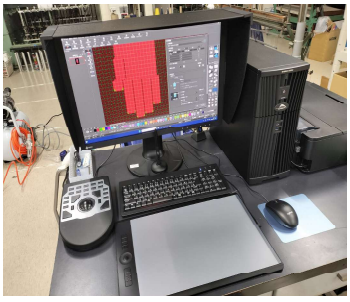
2025年7月25日（金）まで

【申込方法についてのお問い合わせ】

TEL：0795(22)2041（担当者：岩崎）
弊所ホームページ：https://www.hyogo-kg.jp/kiban



全自動無縫製横編試作支援システム


制御モニター


試作物

申込ページはこちら

【イベント案内】

☆「ひょうご楽市楽座」の開催

「ひょうご楽市楽座」は、2025年の大阪・関西万博の開催期間中に兵庫県が主催するナイトマーケットイベントで、兵庫五国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の魅力を発信し、地域交流の促進を目的としています。

【開催期間】2025年4月13日（日）～10月12日（日）の土曜日曜、計53日間
各日　午後4時～午後9時

【開催場所】尼崎フェニックス事業用地（尼崎万博パーク＆ライド駐車場の隣接地）

・県内各地の魅力ある飲食・物販・体験ブースなどが毎週末に約20ブース/日で出店します。
・開催日毎に出店地域を設定し、週毎に異なるコンテンツを楽しめるナイトマーケットを開催します。

・7月5日（土）、6日（日）、12日（土）、13日（日）の4日間は北播磨地域が出店します。**当支援センターでは5日（土）と12日（土）に、足踏み織機による機織り体験ブースを出店予定です。**
大阪・関西万博への来場において、尼崎万博P＆R駐車場を利用される際には、是非お立ち寄り下さい。



（ひょうご楽市楽座・公式ホームページより）

・公式ホームページ：https://lit.link/hyogorakuraku

☆「播州織入門講座」のお知らせ（主催：北はりま職業訓練センター）

【日程】2026年1月13・15・20・22日（計4日間、12時間程度）

【開催場所】北はりま職業訓練センター（西脇市平野町189-1）

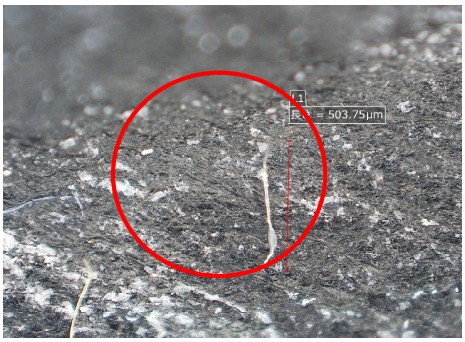
【内容】
播州織について、これから学びたい方、または基本から学び直したい方に向けて、織物商品企画から原糸入荷、染色、織布、仕上げ加工、出荷、品質評価に至る播州織の全工程の基本知識の習得を目指した講座が開催されます。内容、受講料、申し込み方法等の詳細については、北はりま職業訓練センターのホームページをご覧ください。（http://www.kitakun.jp/）

【機器紹介】

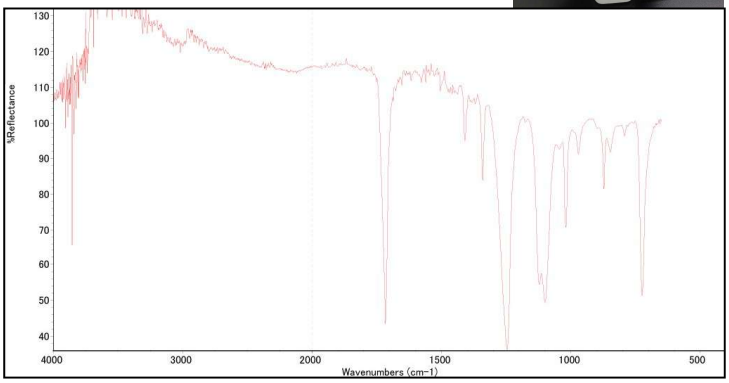
赤外顕微鏡付フーリエ変換赤外分光光度計（iN5）



機器使用料：1,300円/時間、受講料：4,000円/人
【メーカー】サーモフィッシャーサイエンティフィック
【機種名】iN5
【性能・仕様】透過/反射/ATR（Ge）
【用途】微小試料（有機物）の赤外分析
【概要】赤外顕微鏡とFT-IRを組み合わせた機器です。FT-IRの赤外光を顕微鏡部に取り入れ、カセグレンと呼ばれるミラーで反射させながら集光することによって、数十μm程度の小さな微小物の測定が出来ます。微小サンプルの場合、高感度なMCT検出器を使用するのが一般的です。MCT検出器の冷却には液体窒素が必要になりますので、機器利用の際は7日前までにご予約をお願いします。



長さ0.5mmの繊維物



繊維物のIRスペクトル ⇒ ポリエステル成分と判明

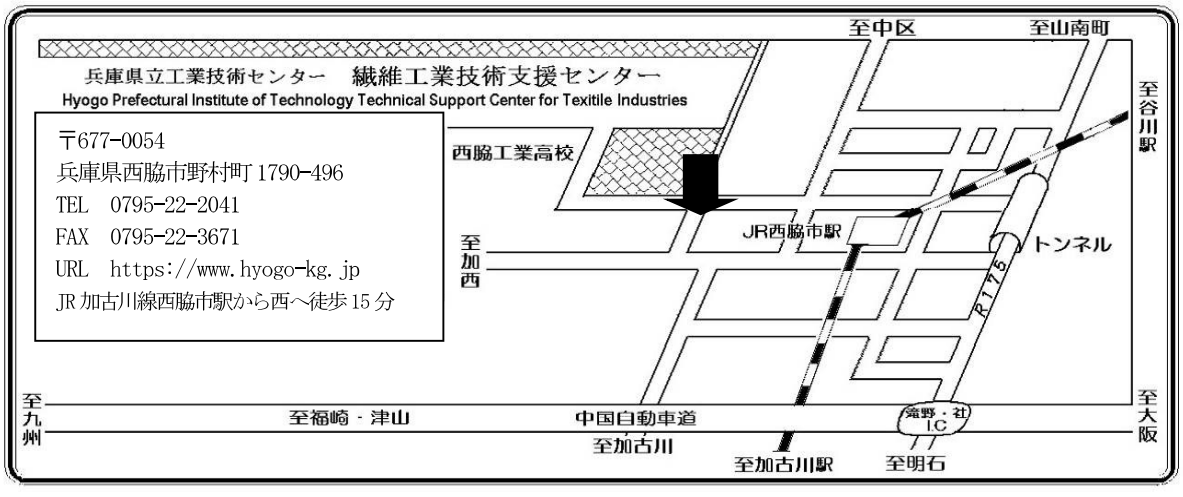
【人事異動】

＜退職・転出＞

中野　恵之	所　　長	（退職）
藤田　浩行	専門研究員	（退職）
佐伯　靖	研　究　員	（退職）

＜昇任（前役職）＞

東山　幸央	所　　長	（技術課長）
吉田　和利	技術課長	（上席研究員）



07産Ⓟ2-013A4